

## 検討内容（図書館、執務空間、配慮を要する子の空間）

■文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」令和4年3月

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

### 学び 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する

GIGA スクール構想による 1人1台端末の日常的な活用に伴う個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、その基盤となる学習空間も、画一的・均質的なものから、柔軟で創造的なものに転換していく必要がある。

このため、学び・活動の変化に柔軟に対応していくことや、教室・教室周辺の空間の改善・充実、様々な活動の場となる教室の有機的な連携・分担、設備や家具の工夫、執務空間の改善・充実を図るなど、多様な学びの姿に柔軟に対応できる創造的空間の整備を進めていくとともに、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた施設環境の整備を推進する必要がある。

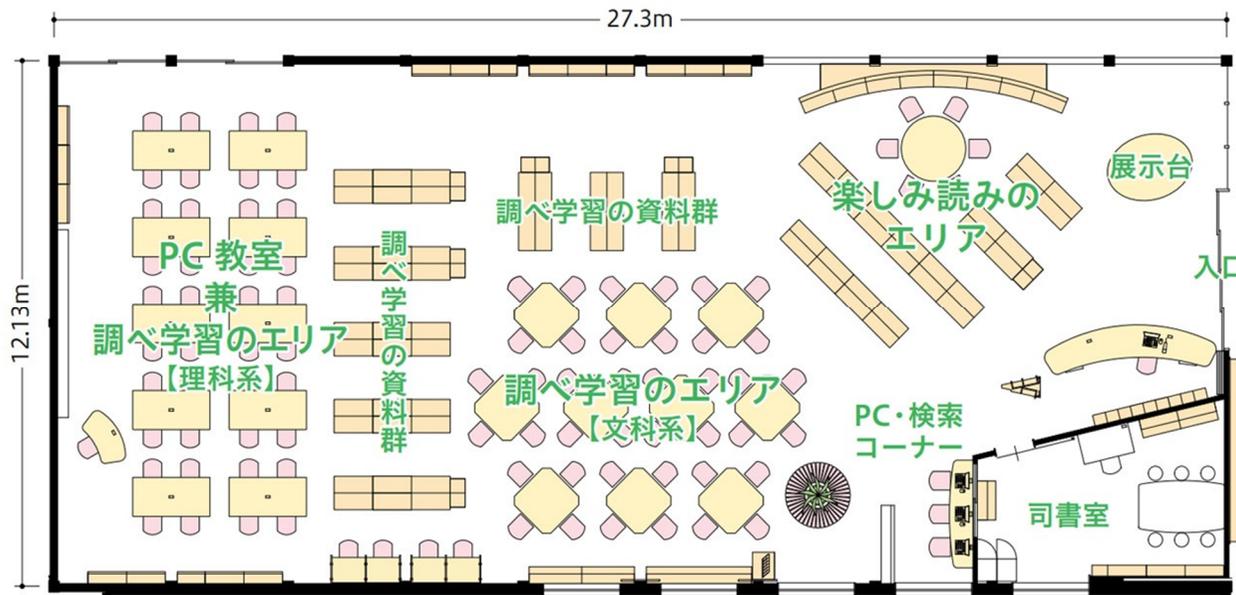
- i) 変化に対応する柔軟性・可変性のある空間構成
- ii) 多様な学習活動を展開できる教室空間
  - ii-1) 1人1台端末環境等に対応したゆとりのある教室の整備
  - ii-2) 多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応
  - ii-3) ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用
- iii) 様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開
- iv) **読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備**
- v) 設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実
- vi) **学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための執務空間**
- vii) 9年間を見通した義務教育を支える施設環境（留意事項として関係する可能性あり）
- ~~viii) 特色・魅力ある高等学校づくりを支える施設環境（非該当）~~
- ix) **多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応**

第4回策定委員会での  
検討内容

## 検討内容1 読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備

### 【基本的な考え方（案）】

- 学校図書館が読書・学習・情報のセンターとしての機能を十分に果たすことができるよう、学校における図書スペース、図書館のあり方を見直す。
- 読み物・調べ物など児童生徒が快適に学習できる学校図書館をつくる。
- 居心地がよく温かみのある空間づくりに配慮する。（通いたくなる図書館）



#### 調べ学習のエリア

センター内には40席の調べ学習のエリアが2ヶ所あり、2クラス同時の調べ学習にも対応している。一方にはプロジェクターやスクリーン、PC配線も用意されておりICTも活用できる。



司書スペース

館内も見渡せる湾曲したカウンター

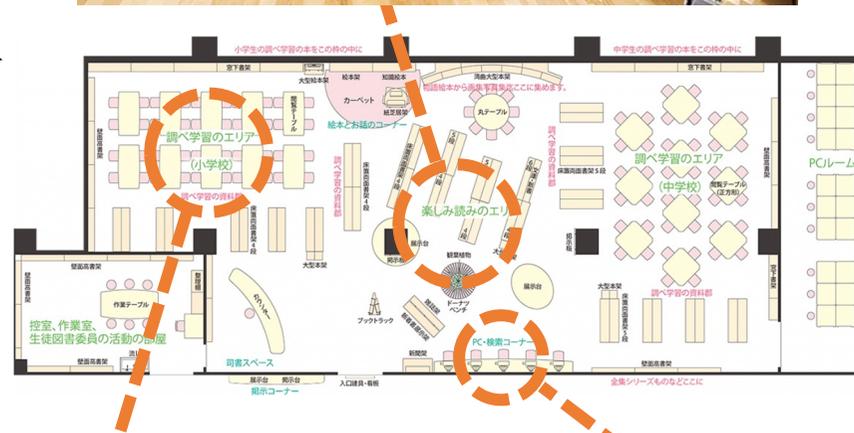


楽しみ読みのエリア

入り口近くのドーナツベンチは、新着本や雑誌を読む小・中学生で賑わう。



司書控室、作業室、生徒図書委員の活動の部屋



小学生の調べ学習のコーナー

4人掛けで本やノートをみんなで見られる大きめのテーブル。



PC・検索コーナー

事例：東かがわ市立大内大川小中学校

## 検討内容2 学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための執務空間

### 【基本的な考え方（案）】

- 職員室や準備室等は、教職員がより効果的・効率的に授業の準備や研修、様々な校務等を行うことができるよう、執務空間としてふさわしい機能を確保する。
- 情報セキュリティを確保しつつ、情報共有のためのコミュニケーションがとりやすい職員室とする。
- 固定席エリア、フリー席エリアを設定し、教職員同士のコミュニケーションを促進する。また、教職員と児童生徒とのコミュニケーションも促進する。

○管理諸室をまとめて、管理エリアを整備

○管理諸室は児童・生徒を見守りやすい位置に設ける

○子ども達が気軽に寄り付ける場を整備

○教職員のコミュニケーションの場を整備

**管理諸室**：校長室、事務室、職員室、印刷室、応接室、会議室、給湯室、用務員室、保健室



### 固定席エリア

校長室に隣接しているエリアは教頭、人権担当、生活指導の先生方+事務職員の固定席になっている。



### 非常勤・集中作業エリア

集中して作業ができるエリアを設定しているため、業務の内容に合わせて席を選ぶことができる。



### コラボレーションエリア

フリー席になっているので、教科や学年のくくりを超えた自然なコミュニケーションが誘発される。

事例：大阪府 泉南市立泉南中学校



### 家具で区切る先生エリアと生徒エリア

事例：島根県立津和野高等学校



### 校長室

ソファは来客時の対応だけでなく、生徒とのコミュニケーションスペースとしても利用されている。

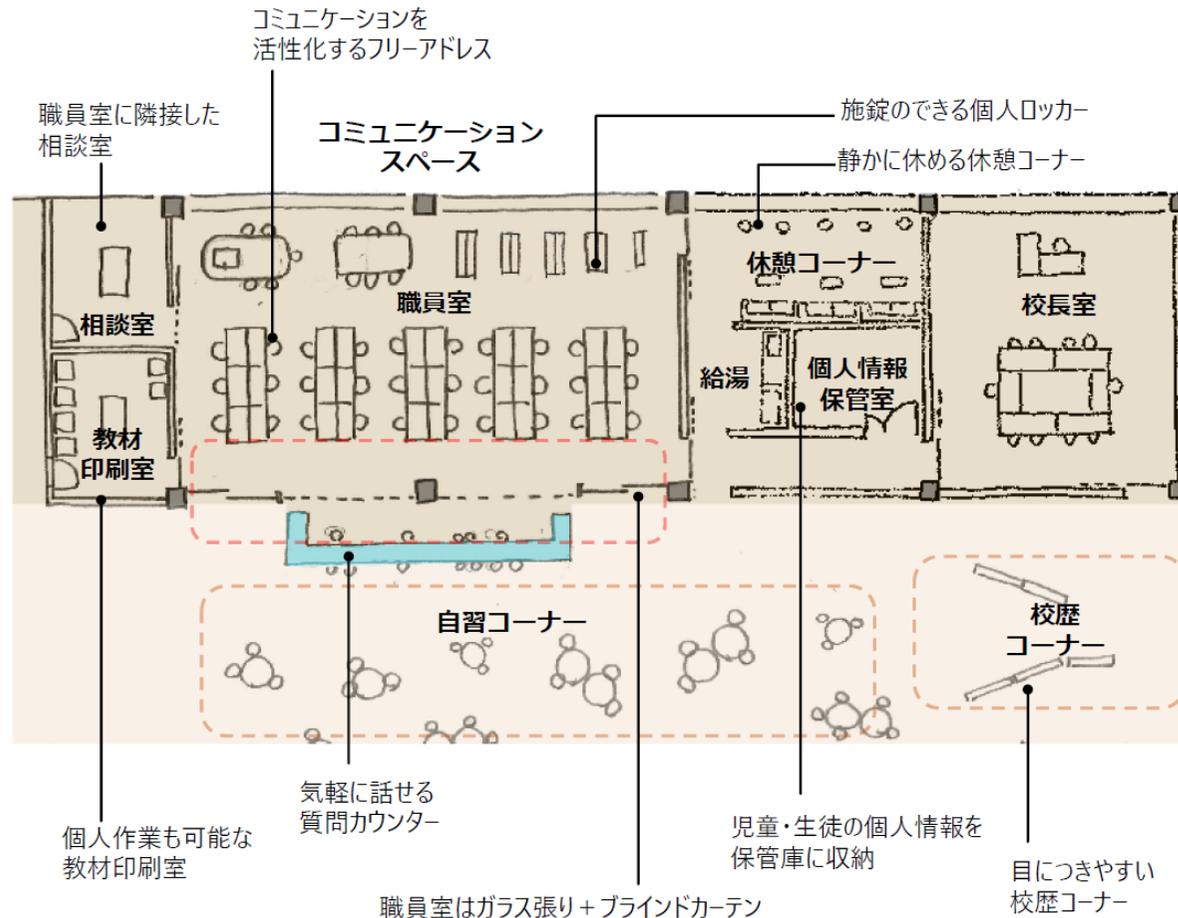


### メディアスペース・教師コーナー

教科に関する掲示物や書籍、資料、グループで使用できるテーブルが設置され、生徒が調べたり考えたりすることが身近にできる空間になっている。

事例：大阪府 泉南市立泉南中学校

- ・職員室に面して、児童・生徒と教員をつなげるカウンターに接する自習コーナーを設ける。
- ・職員室の自習コーナーにカウンターを設け、児童・生徒の質問を受け個別指導ができる場をつくる。
- ・職員室内に、気軽な打ち合わせや共同作業ができるコミュニケーションスペースをつくる。
- ・自由に着席場所を選んで仕事をするフリーアドレスによって、教職員のコミュニケーションを促す。
- ・児童・生徒の個人情報を収納するスペースを設ける。

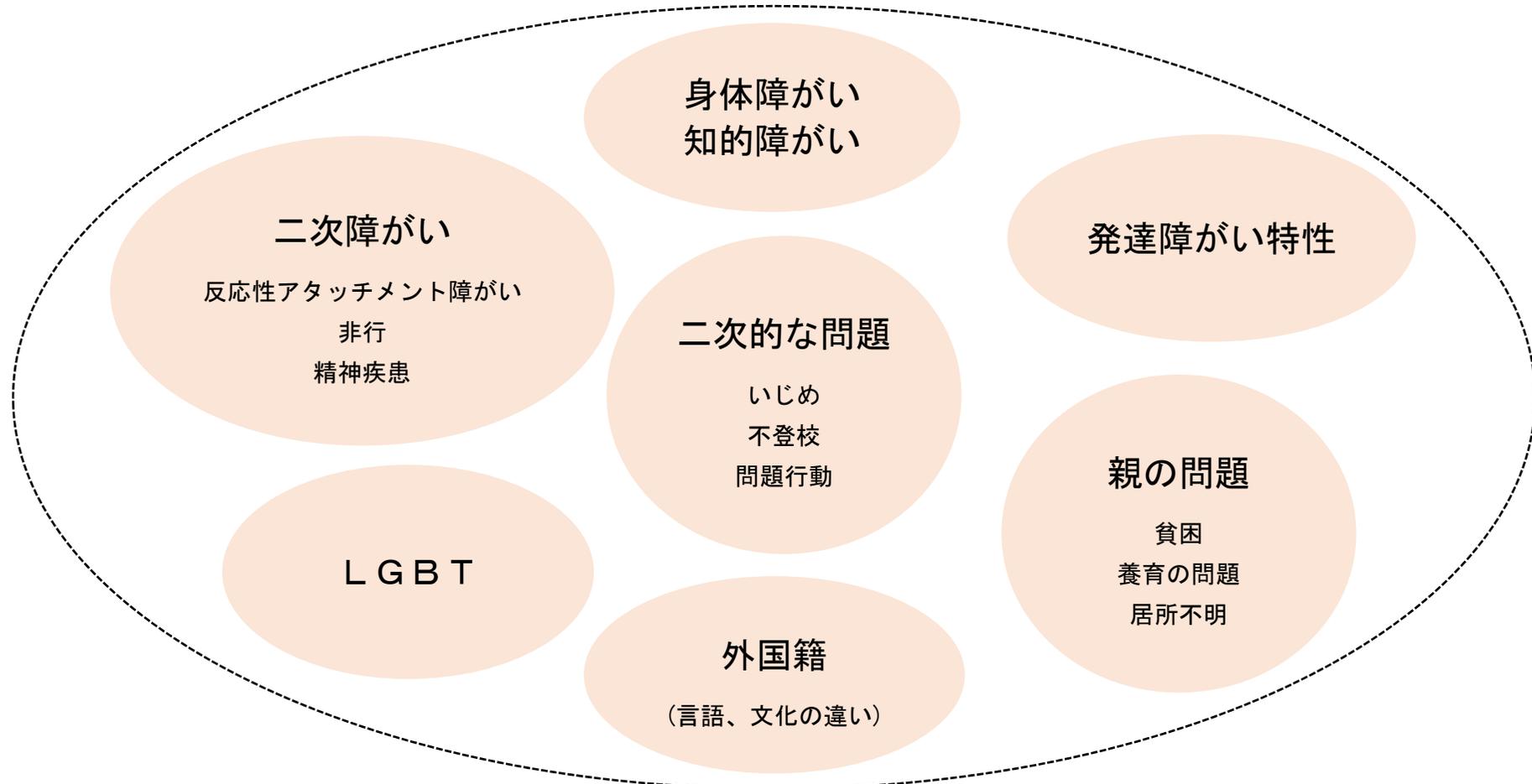


事例：渋谷区『新しい学校づくり』整備方針

※職員室の大きさなどの規模設定は、基本方針（案）の検証などにおいて整理します。

## 検討内容3 多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応

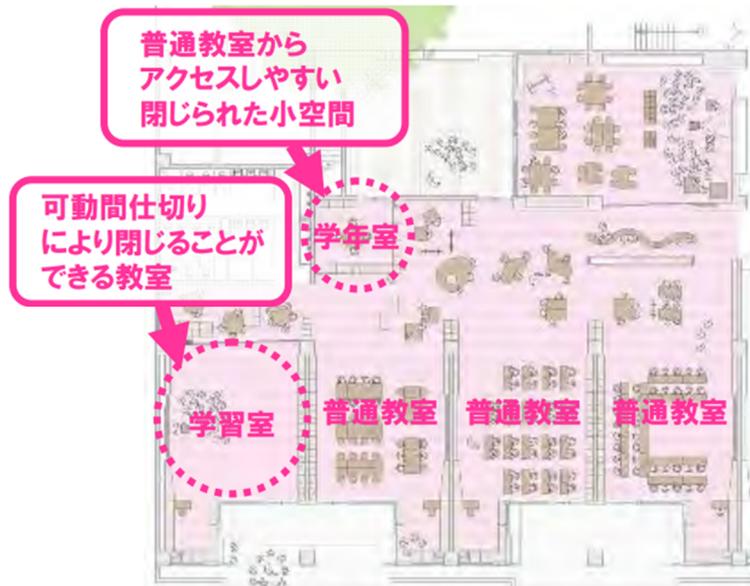
### 【多様な教育的ニーズ】



※トイレ、エレベーター、サインなどは、第9回策定委員会にてご検討いただく予定です。

【基本的な考え方（案）】

- 児童生徒の多様なニーズに対応できる空間・設備を配置する。
- 児童生徒がクールダウンできる・落ち着くことができる空間を検討する。

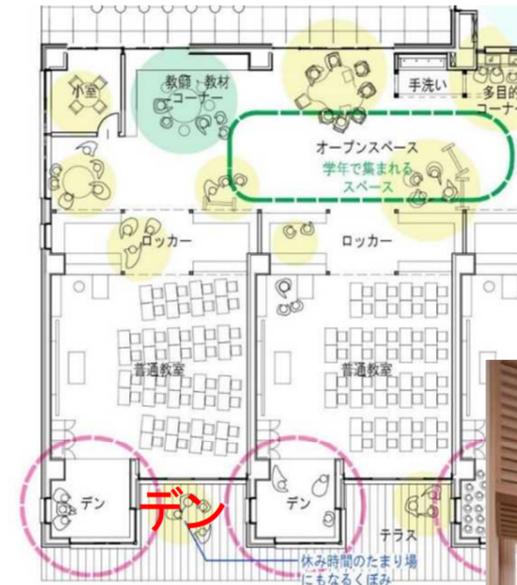


少人数指導のための小空間と普通教室との位置関係

事例：東京都 武蔵野市立大野田小学校



普通教室と連続した小空間



デン

低学年の教室には、教室ごとに4畳半ほどの小上がりスペースがある。



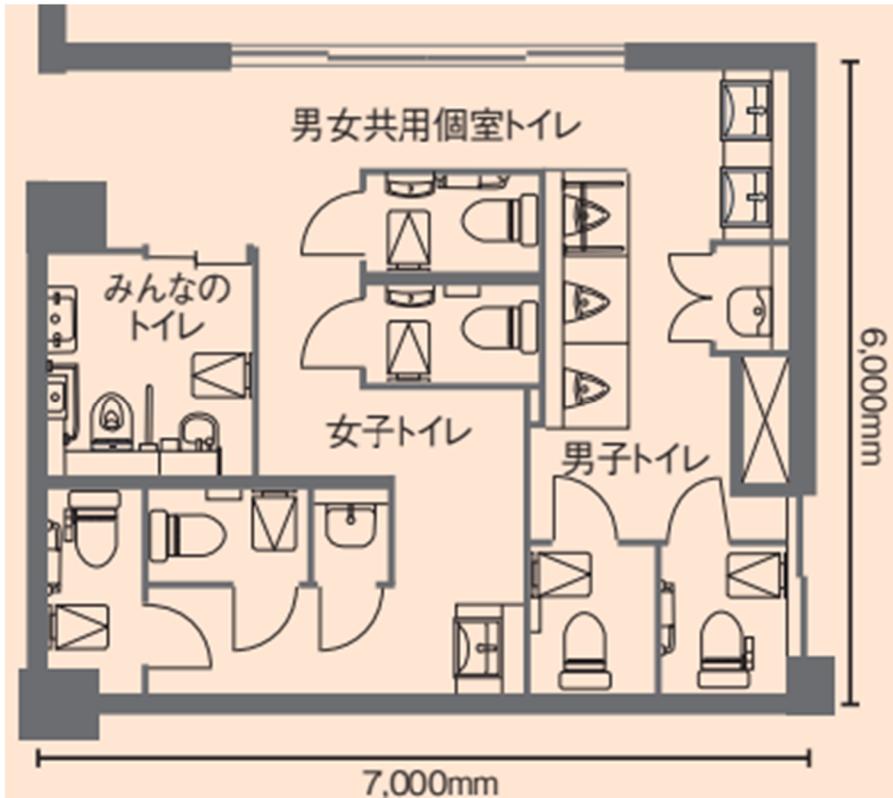
事例：新潟県 糸魚川市立糸魚川小学校

【多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応の方向性】

- ・ 特別支援学級や通級による指導のための環境整備
- ・ 障がいの有無に関わらず安全かつ円滑に交流及び共同学習を行うことができるスペース
- ・ 落ち着いて学習できるスペース、クールダウンできるスペース、医療的ケアの実施に配慮されたスペース等、適切な指導及び必要な支援を可能とする学校施設
- ・ 教室に入りづらい児童生徒や、不登校児童生徒などの多様な子供たちに対応していくため、余裕教室の活用等により、教育相談や学習支援、生徒指導のための空間を確保
- ・ 保健室、保護者等のための相談スペース等について、ICTを活用した学習・指導が行える環境を整えるとともに、安心して使用できるよう、リラックスできる空間とする

生徒が「選べる」トイレ

1階トイレでは、着替えに困るとの声から性的マイノリティに配慮して大便器のあるすべての場所にフィッティングボードを設置。男女共用、みんなのトイレ、どのトイレを使うか生徒が選ぶことができる。

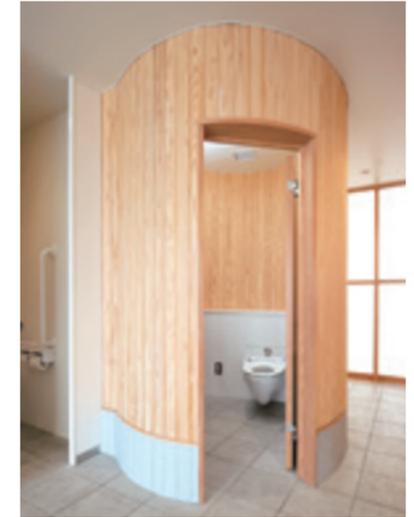


事例：愛知県 豊川市立西部中学校



男女共用個室

手洗いを設置した個室完結型で、着替えのためのフィッティングボードと大便器下専用の防汚陶板を設置。



おこもりトイレ

一人でゆっくりとこもりたい児童に配慮して、木材で覆われたリラックスできるブース。

事例：新潟県

糸魚川市立糸魚川小学校



1階トイレ入り口  
どのコーナーも利用する生徒の選択肢を増やすための配慮が行き届いている。